

丸亀高等学校東京同窓会ご案内

拝啓 春暖の候、皆々様益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、平成6年度丸亀高等学校東京同窓会を、下記の通り開催いたしますので、何卒万障お繰り合せの上、多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

前は母校創立100周年記念を八芳園にて開催いたしましたところ、515名のご出席のもと、いい会を開催いたすことが出来ましたこと、大変うれしく感謝いたしております。今回は昭和39年卒業生が中心に、良い企画をたててくれていますので、昨年にも増してご出席賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。 敬具

平成6年4月25日

東京丸亀高等学校同窓会

会長 森 純 造

記

日時 平成6年6月11日(土)

第1部 特別講演 11:30～12:15

演題 現代の創世記 —物理学の描く宇宙進化論—

講師 東京大学大学院理学研究科教授 佐藤勝彦氏(39年卒)

第2部 総会 12:45～13:00

会則の一部改正・新役員を選出・会務報告・その他

第3部 懇親会 13:00～15:00

会場 三会堂ビル9階 石垣記念ホール

港区赤坂1-9-13 TEL 03-3582-7451

会費 大人 5,000円 学生 2,000円

●平成5年度会務報告

5年4月27日 丸亀高校 新大吉伸校長先生就任祝い開催。

5年5月11日 第12回親睦ゴルフ大会開催。於・多摩カントリー
(優勝・古川智之 旧教)

5年8月11日 石田 薫 猪熊弦一郎現代美術館長を、丸高100周年記念東京祝賀特別記念講演の講師に依頼する。

5年10月30日 11月20日の100周年記念と同窓会について、役員会を開催。
於・リクルート新橋3丁目ビル。

5年11月9日 第13回親睦ゴルフ大会開催。於・多摩カントリー
(優勝・梶佐古景弘 30年卒)

5年11月20日 母校100周年記念同窓会開催。於・八芳園

6年1月22日 100周年記念同窓会の反省と役員改選について、正副会長と役員会を開催。於・船堀バンケットサロンブーケ

●平成5年度会計報告(案)

自・平成5年4月1日

至・平成6年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,948,651	総会費	6,473,100
総会費	4,990,000	印刷費	472,542
物品売上代	373,600	会議・懇親会費	409,430
寄付・広告代	1,405,000	通信費	547,469
懇親会費	175,000		
名簿代	6,000		
通信代	798,500		
雑収入	58,010	収支差額	2,852,220
合計	10,754,761	合計	10,754,761

※ 総会費は物品購入代を含む。

※ 収支差額は、新事業積立金とする。

●会則の一部改正(案)

- 第4条 最高顧問 若干名。
事務局長 1名追加する。
- 第5条 (3)最高顧問・顧問は会長の諮問に応じ助言する。
- 新役員(案)

最高顧問	森 純 造	(8年卒)
顧問	高 畑 幸 男	(7年卒)
〃	天 野 歆 三	(8年卒)
〃	片 岡 勝太郎	(8年卒)
〃	今 井 篤 子	(13年卒)
〃	安 達 芳 夫	(15年卒)
〃	鈴 木 博 子	(15年卒)
新会長(新任)	卯之木 十三	(17年卒)
新副会長(新任)	織 田 清 孝	(31年卒)
事務局長(新任)	大 谷 育 三	(29年卒)

※ 顧問就任以外の副会長は留任。

●お 願 い

昭和60年から通信費として500円をお願いいたしておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

●ゴルフ大会

第14回 平成6年5月10日(火)

第15回 平成6年11月8日(火)

第16回 平成7年5月9日(火)

第17回 平成7年11月14日(火)

於・多摩カントリークラブ

〈申込みは事務局へ〉

●お問合せ先

〈事務局〉 東京丸高会

〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町16-8

共同ビル(小伝馬町)5F

イースタントラベルサービス内 TEL 03-3663-4721

大谷育三

FAX 03-3663-4725

* 5月28日(土)までにご回答願います。

〈特別講演〉

『現代の創世記 —物理学の描く宇宙進化論—』

講演要旨：

宇宙には果てがあるのだろうか？ また宇宙には始まりというものがあるのだろうか？

もしあるとすればその向こうは、その前はどうなっているのだろうか？ 人類は神話や伝説にみられるように古代から、私たちの住むこの世界がどのようなものであるかを問い続けてきました。なぜ人はこのような役にもたたないことを問い続けてきたのでしょうか？

ゴーギャンの絵に「我らいずこより来たりしや？ 我ら何者なるや？ 我らいずこにさらんとするや？」という題名の絵があります。結局宇宙に対する問いかけは自分が何者かを知りたいが故に発せられたものなのです。

この十余年、車椅子に乗った天才と呼ばれるホーキングを始めとする私たち理論物理学者の研究の中からこの問いに対する科学的解答、宇宙創世のシナリオが作り上げられました。“無”のゆらぎから生まれたミニ時空は、インフレーションと呼ばれる急激な膨張によって実在のビッグバン宇宙へと成長し、その中で温度が下がるに伴いガスがかたまり、星や銀河が生まれ豊かなこの世界が創られた。この講演ではこの科学的宇宙創世記を紹介すると共に、宇宙の未来、人類の未来についても話しを展開したいと思っております。

●佐藤勝彦氏略歴

生 年：昭和20年 8月30日

昭和36年 3月 香川大学学芸学部付属坂出中学卒
36年 4月 香川県立丸亀高等学校入学
39年 3月 〃 卒業
39年 4月 京都大学理学部入学
43年 3月 同物理学科を卒業
43年 4月 京都大学大学院理学研究科物理学第2専攻修士課程に入学
45年 3月 同修士課程を修了
45年 4月 同博士課程に進学
48年 3月 同博士課程を単位取得退学
49年 3月 同博士課程を修了。 京都大学理学博士

職 歴

昭和48年 4月 日本学術振興会奨励研究員、京都大学研修員として京都大学理学部、基礎物理学研究所にて研究に従事。
51年12月 京都大学理学部助手に採用される。
54年 6月より55年 7月 Nordita (北欧5ヶ国立理論原子物理学研究所、コペンハーゲン) 客員教授。
57年12月 東京大学理学部助教授に昇任。
平成2年10月 東京大学理学部教授に昇任。
5年 4月 東京大学大学院理学研究科教授に配置換え、現在にいたる。

その他

昭和63年 8月より平成3年 8月
国際天文学連合宇宙論委員会委員長(President)を勤める。

賞 罰

平成元年 2月 第5回井上學術賞 受賞
受賞研究課題 宇宙論の理論的研究
2年12月 第36回仁科記念賞 受賞
受賞研究課題 素粒子論的宇宙論の研究

以 上